

# プログラム名：ラムサール条約登録湿地 『谷津干潟、から考える人と自然のつながり』

## プログラムの内容

▶東京湾の埋め立てが進む高度経済成長期に、市民による保全活動が行われ、埋め立てから免れた『谷津干潟』。長方形の干潟として残された経緯と、埋め立て前の「人と干潟の関わり」などを屋内学習施設と豊富な資料と解説で学びます。干潟体験活動では、学校や住宅に囲まれた姿からは想像ができないほど、多様なカニや貝やゴカイや水鳥がくらす様子を間近で観察でき、東京湾に残る天然の干潟が持つ役割や働きについて考えることができます。

## 対象となる【SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット】

- ▶**ゴール14（ターゲット 14.1）**：海洋ごみなど汚染につながる要因に気づき、発信・行動できる人材を養う。
- ▶**ゴール15（ターゲット 15.5 15.8）**：絶滅危惧種が息息する環境でおきている外来種問題について知り、発信・行動できる人材を養う。



### 事前学習

- ▶地形や広さなどの概要や昔の活用に、保全活動などについて調べる。
- ▶底生生物や渡り鳥について調べ、干潟に多くの生き物が息息する理由を予想する。
- ▶ラムサール条約について調べる。



### 現地学習

- ▶概要、歴史、生きもの、ラムサール条約について説明をうける。
- ▶カニ、カイ、ゴカイ、サカナなどの底生生物を採取し、生態を観察したあとに、役割について学ぶ。
- ▶アオサの繁茂や大型二枚貝の増加、ゴミの流入などの環境問題について現状を確認し、人や生きものへの影響や原因について知る。
- ▶干潟の役割を考えるグループワークや環境問題に対して、保全活動の実践や自分たちができることを考えるグループワークなど。



### 事後学習

- ▶現地学習で話し合った「環境問題に対して自分たちができること」を実践していくために、学校や周辺の自然環境を再度確認し、課題を見つける。その課題に対して、地域のとりくみについて調べ、行動目標を考える。（例として、現地学習でも取り上げるゴミ問題などから考えていくと進めやすいです）



## プログラムのポイント！



埋め立てられる前に行われていた干潟の活用や埋め立て当時の保全活動について、写真や映像を通して知ることができる他、干潟体験活動では、道具をつかって生きものを採せば絶滅危惧種に出会えることも！また、閉鎖的な自然干潟が抱える環境問題に対して、ラムサール条約登録地ならではの理念を通した、保全や教育の考え方・取り組みについて知ることができます。谷津干潟や生きものに詳しいスタッフが、学校の要望に合わせたプログラムをつくりご案内します。

受入人数	60名
受入可能時期（休業日）	・休館日及び満潮時以外は受け入れ可 ・渡り鳥のシーズンは要相談
受入可能時間	9：00～17：00
体験時間	120分～300分

対象	小学生以上
1人/1回 当たり料金	1000円＋入館料 ※長靴レンタルあり(一足/200円)
備考 (雨天対応等)	雨天時は干潟の中の活動を別の形で提供します。

### ▶問い合わせ

名称：習志野市谷津干潟自然観察センター  
 担当：永井祐紀  
 TEL：047-454-8416  
 営業時間 9：00～17：00  
 休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は次の平日）  
 年未年始（12月28日～1月1日）